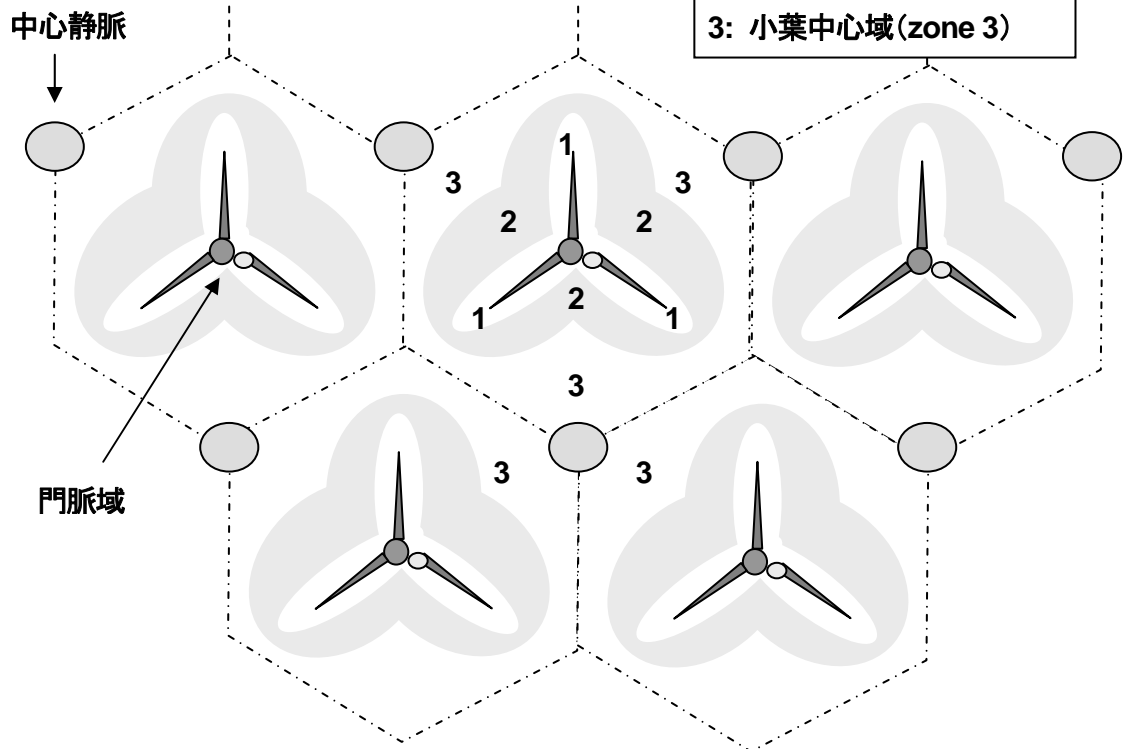


図10 Acinusの構造



Acinus 内では領域による機能の違いがみられ、小葉中心域は薬物代謝酵素 P-450 が豊富で多くの薬物代謝に関わるため薬物性肝障害の発現領域となることが多い。薬物性肝障害の壊死、炎症所見は、原因薬物によって、それぞれの領域に特徴的に分布することがあり、特に中毒性機序によるものではこのタイプが多い。以下に、その代表的な例を示す。

- ・ 門脈周辺域の壊死 (zone 1) : リン中毒や硫化鉄中毒などが知られている。
- ・ 小葉中間帯の壊死 (zone 2) : 実際の臨床例では稀である。
- ・ 小葉中心域の壊死 (zone 3) : アセトアミノフェンなど、多くの中毒性機序によるものや、ハロタンではこのパターンを呈する。小葉中心域 (zone 3) の肝細胞障害は薬物性肝障害の組織診断にきわめて有用な所見である (図 11-組織画像)。